

## えずこホール イベント案内

祝 開催200回記念!  
えずっこひろば  
～親子で楽しむ遊びの場所～

3/11 [水]  
10:00～12:00

会場:ホワイエ 参加:無料  
(出入り自由/申し込みの必要はありません。)  
先着30組の親子にBOXティッシュをプレゼント!!  
協賛:ジェットインターネット株

楽しみ、仲間、夢、ひろがる、世界

AZ9ジュニア・アクターズ  
新メンバー募集中!



仙南地域の小学3～6年生が参加する児童劇団です。演劇やダンスを通してさまざまな表現を学び、集大成として演劇ステージを創り上げます。

- ◆活動:年間約40回(主に土日)
- ◆費用:月額3,000円、他

公演を観たいパパ・ママ応援!

えずこキッズクラブ  
メンバー募集中!



ホール主催公演時の託児ボランティアや月1回開催する「えずっこひろば」で子どもたちとふれあってみませんか?(保育経験不問)

- ◆活動日:主催公演開催日  
えずっこひろばの日
- ◆参加費:無料
- ◆対象:高校生以上

えずこホール  
仙南芸術文化センター

お問い合せ TEL 0224-52-3004  
〒989-1267 柴田郡大河原町字小島1-1  
URL: http://www.ezuko.com/  
info@ezuko.com



学び舎通信 school news

町内小中学校の情報を毎月お届けします

東日本大震災の際、校舎の屋上に避難する「垂直避難」という決断を下したことで、児童や職員ら全員の命が守られたこと。避難所生活の場面では、中学生が掃除や挨拶、子供たちの世話などを率先して行うことで、周囲の大人たちを勇気づける「頼りになる存在」になれるというお話をいただき、内陸に暮らす本校生徒にとっても自分事として考える契機となったようです。



▲ 12/20、中浜小学校をプロジェクトMASが訪問

また、どんな仕事をする上でも、人と関わる力が必要であること。特に、中学生として、話すことだけでなく、人の話を聞けるようになること。そして、迷ったら挑戦する気持ちを持つことが大切であるとアドバ



### 震災の教訓を未来へ SDGS講演会「命を守る判断」

本校では、令和7年12月12日に1年生を対象に、井上剛先生(やまと語りべの会)をお招きしてSDGS講演会を実施しました。「震災を乗り越えてあなたならどうする?」というテーマのもと、震災遺構となった山元町立中浜小学校での実録を中心にお話をいただきました。

起るものであるという意識を改めて持ち、大河原町の一員として自ら考えて動く習慣を身に付けることの大切さを学びと共に、自分たちの命、そして地域の未来をどう守っていくべきかを考える貴重な機会となりました。

大河原中学校

### キャリア教育「職業人に聞く」

本校では、1年次に、キャリア教育の一環として、地域で働くかたから講話をいただく機会を設けています。

今年度は、株式会社丸亀製麺(以下、丸亀製麺)・大河原店店長の梅田晃空さんに来ていただきました。梅田さんは全国の丸亀製麺において最短最速で店長職に就かれました。店長として、自分が店の経営の柱にしていること、そして、スタッフの成長を見ながら協力して目標を達成し、同時に働くことが誰かの幸せにつながっていることを「働く上での喜び」として熱く語ってくださいました。

金ヶ瀬中学校

# あなたの周りに悩んでいる人はいませんか?

～心をつなぐ「気づき」「声かけ」の輪を広げましょう～

心やからだの不調は誰にでも起きる可能性があるものです。特に3月は生活環境の変化がめまぐるしかったり、仕事が多忙な時期でもあり、ストレスを感じやすい時期です。

悩みごとがあるとき、ひとりで抱え込んでしまうと、ますますこころが疲れてしまいます。そのような状態が続くと、自分で不調に気づきにくかったり、自分からSOSを出しにくかったりするかもしれません。

悩んでいる様子や普段との違いに気づいたら、まず声をかけてあげてください。周りの人による「気づき」と「声かけ」が、不安や悩みを少しでも和らげることができるかもしれません。



3月は  
自殺対策強化月間です

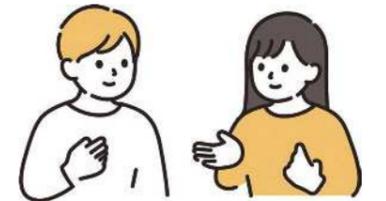
## 気づき

まず大切なのは、「気づき」です。家族や友人、同僚、地域の方々など、身近な人の言動や様子の変化に敏感になることです。「いつもと違うな」「元気がないようだ」といった小さな変化を見逃さず、関心を持つことが、最初の大きな一歩となります。

## 声をかける

変化に気づいたら、声をかけてみましょう。「どうしたの?」「何か困っていることはない?」といったシンプルな言葉でも構いません。

相手が話したがらない場合でも、「いつでも話を聞く準備がある」ということを伝えるだけでも、大きな安心感を与えることができます。まずは寄り添い、話を聞く姿勢を伝えることが重要です。



## つなぐ

その上で、もし相手が深刻な悩みを抱えているようであれば、一人で問題を解決しようとするのではなく、専門の相談窓口につなぐことが不可欠です。

町では、毎月、精神科医、公認心理師、保健師によるこころの健康相談を実施しています。ご本人だけでなく、ご家族からの相談も受け付けています。お気軽にご相談ください。



大河原町  
こころの健康相談はこちら



町以外の相談先は  
こちら

問合せ先 健康推進課 健康推進係(1階④番窓口) ☎ 0224-51-8623